

平成 24 年度 事業報告書（総括）

基本方針

公益財団法人岩手県下水道公社は、岩手県及び県内市町村の下水道行政を支援するため、下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的とし、公益目的事業と収益事業を実施した。

1 公益目的事業

- 下水道の普及啓発事業
- 下水道施設の管理運営支援事業
- 下水道技術者育成事業
- 下水道に関する調査研究事業
- 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

2 収益事業

- 下水道施設整備支援事業
- アセットマネジメント支援事業

3 東日本大震災津波への対応

東日本大震災津波により被災した市町村に対して、災害復旧のための下水道施設等の設計・積算及び現場監督補助等の支援を実施した。引続き、沿岸地域の市町村のニーズを把握し、同様な支援を行うこととしている。

1 公益目的事業報告書

下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することを目的として、1の公益目的事業と2の収益事業を実施したところである。

また、東日本大震災津波による市町村の下水道施設の被災に対する支援として、沿岸部の市町村の災害復旧支援を行った。

1 下水道の普及啓発事業

(1) 施設見学

流域下水道の4浄化センター（都南・北上・水沢・一関）において、随時、施設見学を実施し、下水道の役割や下水処理の仕組み等を説明し、下水道の普及啓発に努めた。見学者は児童・生徒を中心に61件、2,446人であった。

（平成24年度の目標は見学件数65件）

(2) イベント

- ・7月28日(土) 小学生を対象とした「夏休み下水道教室」（北上浄化センター）の開催
 - ・10月13日(土) 一関市普及啓発イベント（千厩浄化センター）の支援
 - ・10月20日(土) 普及啓発イベント「なるほど！下水道」の開催
- ※9月上旬に実施予定としていた施設見学会「下水道フェスタ」は、都南浄化センターの大規模な建築工事及び増設工事のため中止とした。

(3) 下水道出前講座

平成24年度は6回実施した。（小学校6校）

（平成24年度の目標は11回）

引き続き、小学校など教育の場で下水道の役割等が取り上げられるよう働きかけるとともに、住民説明会等での活用について市町村へPRし、水洗化率の向上に結びつく活動としていく。

2 下水道施設の管理運営支援事業

(1) 流域下水道施設

北上川上流流域下水道の都南処理区、花北処理区及び胆江処理区並びに磐井川流域下水道の一関処理区の処理施設において、適正で効率的な維持管理の運営を支援するため、民間事業者の行う運転操作や水質汚泥分析等について履行確認や評価及び指導助言を行うとともに設備・管渠等の補修、点検調査に係る積算資料の作成や監督等の管理運営支援業務を主体的に実施した。

各処理区（浄化センター）における下水処理状況等は、次のとおりである。

処 理 区 (浄化センター)	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	一日平均
都南処理区 (都南浄化センター)	流入水量 38,563 千 m ³	105,652 m ³ /日
	脱水汚泥量 15,273 t	41.8 t/日
花北処理区 (北上浄化センター)	流入水量 11,301 千 m ³	30,961 m ³ /日
	脱水汚泥量 5,560 t	15.2 t/日
胆江処理区 (水沢浄化センター)	流入水量 4,798 千 m ³	13,146 m ³ /日
	脱水汚泥量 2,319 t	6.4 t/日
一関処理区 (一関浄化センター)	流入水量 2,844 千 m ³	7,791 m ³ /日
	脱水汚泥量 1,457 t	4.0 t/日
4 浄化センターの 計	流入水量 57,506 千 m ³	157,550 m ³ /日
	脱水汚泥量 24,609 t	67.4 t/日

・平成 23 年度と比較し、夏期の少雨による雨水流入の減少等により、特に合流式である都南浄化センターの流入水量が減少した。

$$57,506 \text{ 千 m}^3 \text{ (24 年度)} / 59,103 \text{ 千 m}^3 \text{ (23 年度)} = 97\%$$

・放流水質の管理目標 BOD 5mg/L 以下（目標達成日数 80%以上）の達成状況は、測定日数 239 日中 206 日達成した。（目標達成日数 86%）

(2) 公共下水道施設

市町村が管理する下水処理場において、運転計画の作成など維持管理全体のマネジメントを行うとともに、民間事業者の行う運転管理や水質汚泥分析等に係る履行確認や評価を行うなど管理運営支援業務を実施した。

平成 24 年度は、奥州市（前沢下水浄化センター）、洋野町（種市浄化センター、大野浄化センター）、一戸町（一戸町終末処理場）、九戸村（九戸村浄化センター）の 4 市町村 5 処理場の管理運営支援業務を実施した。

簡易に測定できる放流水透視度にて管理し、水質悪化時には速やかに対応を行った。放流水透視度の管理目標 100cm 以上（目標達成日数 80%以上）の達成状況は、測定日数 214 日中 172 日達成した。（目標達成日数 80%）

3 下水道技術者育成事業

市町村下水道担当職員等を対象に、下水道管理者として修得しておくべき基本的な事項等についての「技術研修」を、8月1日から3日までの3日間実施した。受講者は、25市町村、52人であった。

（平成 24 年度の目標は、参加市町村数 30 市町村）

平成 25 年度も受講者からのアンケート結果を参考にして、さらに充実した研修会となるよう目指していく。

4 下水道に関する調査研究事業

流域下水道施設における資源の有効利用に関する調査研究として、「リン回収を目的とした汚泥処理工程での元素類の挙動調査に関する共同研究」を岩手大学と共同で実施した。維持管理上の課題として汚泥処理系配管閉塞の原因の一つと考えられているMAP（リン酸アンモニウムマグネシウム）の生成を抑制するとともに、リン資源枯渇の解消に貢献する可能性のある下水汚泥焼却灰へのリン移行効率の向上を図る手法を検討するものである。

平成 24 年度は、各汚泥処理工程でのリンを含めた元素類の分析を行い、汚泥消化工程前後における各元素の収支を調査した。今回の調査において、配管閉塞などの不具合を引き起こす化合物は、リン酸イオンとマグネシウムイオン及びカルシウムイオンとの反応によって生成されるリン酸塩沈殿物である可能性が推察され、これらの元素は機械濃縮汚泥に多く含まれることが示唆された。

平成 25 年度は、リン化合物の生成抑制を図ることを検討するため、機械濃縮汚泥からの元素類の溶出特性に関する調査を行う。

5 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

排水設備工事の設計・施工管理を行う際に必要な知識や技術について、資格認定や更新講習会を次のとおり実施した。

- ・排水設備工事責任技術者試験・受験講習会
平成 24 年 9 月 30 日(日) 岩手教育会館
受講者 65 名
- ・排水設備工事責任技術者試験
平成 24 年 10 月 28 日(日) 岩手教育会館
受験者 68 名 (合格者 42 名)
- ・排水設備工事責任技術者更新講習会
平成 24 年 11 月 25 日(日)、12 月 2 日(日) 岩手教育会館
更新対象者 454 名 (更新者 391 名)

※平成 25 年 4 月 1 日現在の登録技術者数：4,765 名

2 収益事業報告書

本県の下水道整備を促進するため、県及び市町村に対し、下水道施設の設計・積算及び現場監督補助等の技術支援を行うとともに、東日本大震災津波により被災した市町村に対して、災害復旧のための支援業務を実施した。

また、下水道施設の適正且つ効率的な運用を支援するため、県内市町村が管理する下水道施設の長寿命化計画の策定業務を実施した。

1 下水道施設整備支援事業

県及び市町村が施工する下水道工事に係る設計・積算及び現場監督補助等の業務を受託し、技術支援を行ったほか、東日本大震災津波による災害復旧のための設計・積算及び現場監督補助等の技術支援を行った。

(1) 流域下水道施設整備支援

流域下水道施設の老朽化等による更新工事をはじめ、施設整備の設計・積算及び現場監督補助等の技術支援

8件、契約額 20,877,150 円

※平成 24 年度の目標は、3 件、10,000 千円

(2) 公共下水道施設整備支援

① 施設整備支援受託

下水道の専門技術者の不足している市町村への技術支援

8 市町 19 件

(矢巾町 2 件、一関市 3 件、八幡平市 5 件、洋野町 4 件、
一戸町 2 件、軽米町 1 件、岩手町 1 件、大船渡市 1 件)

契約額 39,551,400 円

(平成 23 年度の出来高 1 件、1,315,650 円含む)

※平成 24 年度の目標は、21 件、48,000 千円

② 災害復旧支援受託

東日本大震災津波により被災した市町村の下水道施設等の復旧に関する技術支援

5市町村8件

(大槌町2件、野田村2件、田野畑村1件、陸前高田市2件、釜石市1件)

契約額 20,750,100 円

(平成25年度へ繰越1件、1,470,000円含む)

(平成24年4月1日以前の契約で、当期において完了した支援業務は1件1,669,500円)

※平成24年度の見込みは、9件、18,000千円

2 アセットマネジメント支援事業

市町村の下水道施設における長寿命化計画策定を支援するため、長寿命化計画策定業務や設備台帳への基本データ入力を市町村から受託し、資料作成等の技術支援を行った。

① 長寿命化計画策定業務

1市1件、契約額 2,835,000 円 (遠野市)

② 設備管理システム台帳データ入力業務

1市1件、契約額 1,680,000 円 (北上市)

※平成24年度の目標は、3件、7,500千円

3 管 理 部 門

1 職員の状況（平成 25 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

組 織	職 員	嘱 託 員	臨時職員	計
事 務 局 長	1			1
企 画 管 理 課	5		2	7
工 務 課	6	1	1	8
県 南 支 社	8	1	1	10
県南支社都南出張所	4	1	1	6
合 計	24	3	5	32

※職員のうち岩手県からの派遣職員数は11名

2 役員等の状況（平成 25 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

役 職 名	常勤	非常勤	計
評 議 員		5	5
理 事 長	1		1
理 事		5	5
監 事		2	2
合 計	1	12	13

3 職員研修等

職員相互における共通認識や情報共有と職員個々の技術力向上を目指し、社内職員による発表や外部講師による出前講座を利用して3回実施した。

また、2月には業務の適正かつ効率的な運営に向け取り組んでいる職員の取組成果について発表する「改革改善成果発表会」を実施し、表彰している。

4 危機管理対応

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波への対応について課題の抽出や改善策の検討を行った結果、危機管理体制の見直し・整備を進めた。

平成24年度は、非常用通信網の整備として、衛星電話を公社本社と県南支社に各1台を配備した。また、岩手県県土整備部下水環境課及び岩手県北上川上流流域下水道事務所との連携・情報共有を強化する目的で非常訓練を共同で実施した。

5 評議員会及び理事会の開催状況

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所	会 議 の 主 た る 内 容
第 5 回理事会	平成 24 年 5 月 18 日	盛岡市 サニセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 23 年度事業報告及び計算書類の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社第 4 回評議員会の招集について [報告事項] 1 平成 23 年度理事関係者との利益相反取引の報告について 2 平成 24 年度県出資等法人運営評価について
第 4 回評議員会	平成 24 年 5 月 30 日	盛岡市 サニセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 23 年度事業報告及び計算書類の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社理事の選任について
第 6 回理事会	平成 24 年 11 月 1 日	盛岡市 サニセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社第 5 回評議員会の招集について 2 資金調達及び設備投資の見込みについての承認について [報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 24 年度上半期業務執行状況について 2 平成 24 年度岩手県出資等法人運営評価について
第 5 回評議員会	平成 24 年 11 月 12 日	盛岡市 サニセル盛岡	[報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 24 年度上半期業務執行状況について 2 平成 24 年度岩手県出資等法人運営評価について

<p>第7回理事会</p>	<p>平成25年 3月27日</p>	<p>盛岡市 サニセル盛岡</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 公益財団法人岩手県下水道公社平成24年度収支予算変更の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社平成25年度事業計画及び収支予算の承認について 3 平成25年度理事関係者との利益相反取引の承認について 4 公益財団法人岩手県下水道公社代表理事の選定について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公益財団法人岩手県下水道公社中期経営計画の達成状況について
---------------	------------------------	-----------------------	---